

令和7年度全国学力・学習状況調査 南幌町内の状況及び今後の改善方策

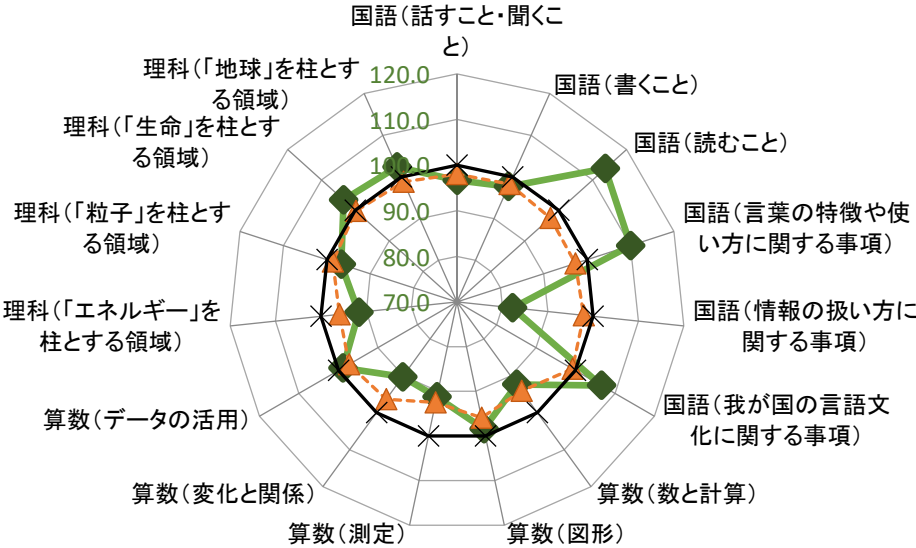
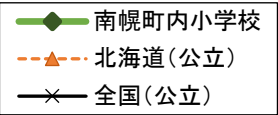
小学校数:1校、児童数:52人 中学校数:1校、生徒数:39人

○ 教科に関する調査の状況

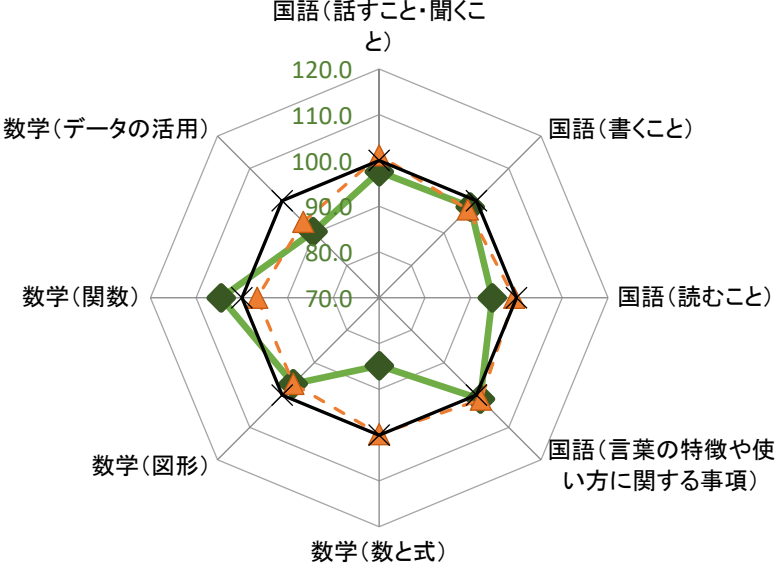
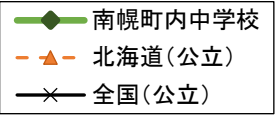
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校



中学校



【平均正答率・平均IRTスコア】

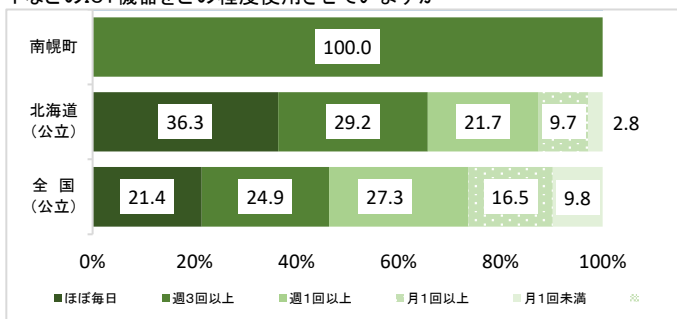
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
南幌町	69	54	57	53	45	487
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

○ 質問調査の状況

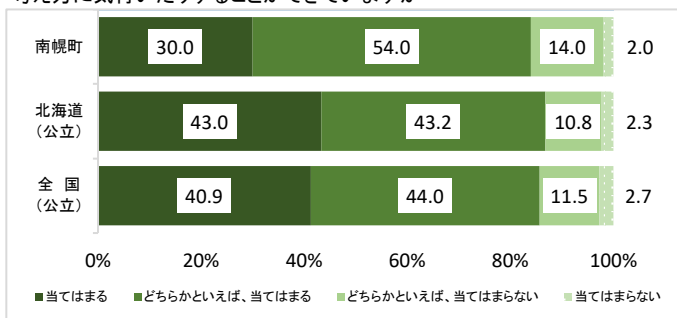
小学校 ＜学校質問＞

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



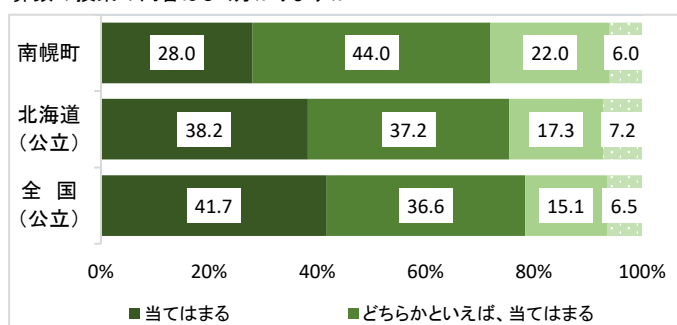
小学校 ＜児童質問＞

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



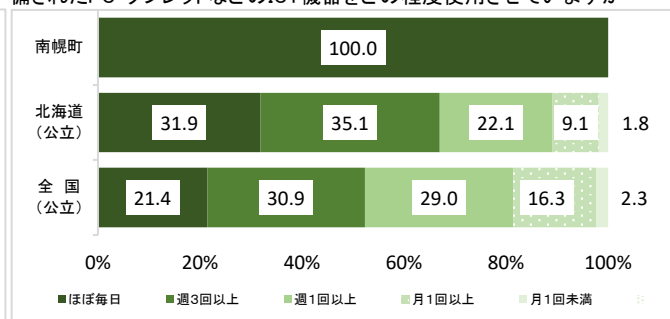
小学校 ＜児童生徒質問＞

算数の授業の内容はよく分かりますか



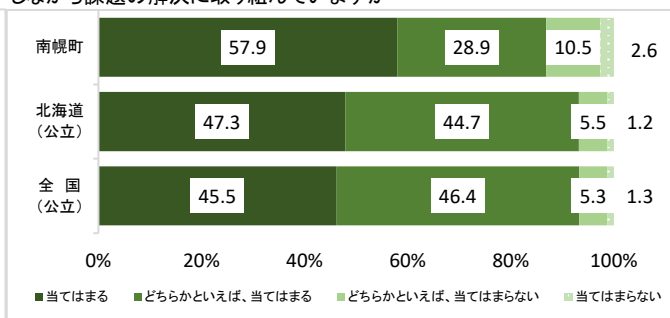
中学校 ＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



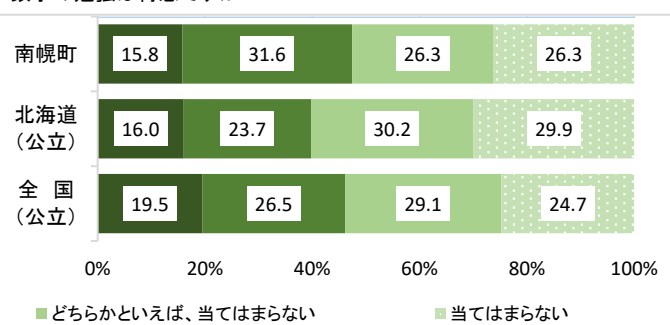
中学校 ＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

数学の勉強は得意ですか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道と同レベルになったと考えられる。
- 中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
- 小学校算数及び中学校の数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、小学校では算数の授業の内容はよく分かったと回答した児童の割合、中学校では数学の勉強は得意と回答した生徒の割合が全道及び全国を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- 児童生徒の授業の理解度等に応じた、一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進
- ICT端末を活用した学習用アプリによる家庭学習の習慣化を図る取組の推進
- 児童生徒の一人一人の状況に応じた指導や支援体制作りに向けた特別支援教育学習指導員の配置